

第44期 中間 株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日



豊かな食への探究心とともに



株式
会社

ヒガシマル

証券コード：2058

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第8波の到来が懸念される中ではありますが、新型コロナウイルス感染症の収束と、皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

ここに第44期中間株主通信を公開させていただきます。株主の皆さまにおかれましてはご高覧くださいませよう、また今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役会長 **東 吉太郎**

代表取締役社長 **東 勤**

ヒガシマルグループの事業展開

高付加価値商品を提供することで、
お客さまの発展と社会の進化に貢献する。



マーケティング

情報収集力を高めた顧客志向営業



水産事業

地球の水産資源をさらに豊かに



食品事業

伝統の味を現代に活かす



研究開発

No.1クオリティの創出

増収をしっかりと確保する中、
経費削減や販売価格の見直しなどを
機動的に進めてまいりました。



当第2四半期の決算のポイントについて
教えてください。



原材料やエネルギー価格の高騰による
コスト上昇が業績面に大きく影響を及ぼしました。

当第2四半期では、エネルギー及び食料品等の価格上昇で企業の収益圧迫や家計の購買力を下押しする懸念が顕在化し、先行き不透明な状況が続きました。このような中、当社グループでは魚粉・小麦粉等の主原料、石油関連消費財及び輸送費等が値上がりし、生産コストに影響を及ぼしました。また、今後さらに生産コスト増による収益圧迫が懸念されるため、経費削減や販売価格の見直しなどを行ってまいりました。その結果、当第2四半期の主な連結業績は、売上高59億59百万円(前年同期比4.5%増)、営業損失66百万円(前年同期は営業利益2億24百万円)、経常利益29百万円(前年同期比90.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円(前年同期比98.6%減)となりました。



水産事業の概況についてお聞かせください。



魚粉がこれまでにない高値取引となる等、
厳しい環境が続きました。

鮮魚市場の流通もコロナ禍前に戻りつつあります。しかしながら、養魚用配合飼料の主要原料となる魚粉は、海外

経済情勢の悪化等に起因し、これまでにない高値取引となっています。当社グループでは製品価格の値上げを実施してまいりましたが、厳しい環境が続きました。当第2四半期では、エビ飼料類は、製品の値上げは先送りとなりましたが、昨年より在池尾数が多く順調な育成環境であったことから前年同期を上回りました。また、値上げを実施した魚類飼料では、ヒラメ・トラフグ・マダイ飼料類が前年同期を上回った一方、ハマチ飼料類は、今年のモジャコ採捕不漁等により養殖在池尾数が全体的に少なかったことから販売に繋がらず、前年同期を下回りました。これらの結果、水産事業の売上高は34億73百万円(前年同期比5.5%増)、セグメント利益は1億6百万円(前年同期比61.5%減)となりました。

question それでは続いて、食品事業の概況についてはいかがですか？

Answer 製品価格の見直しを慎重に見極めて実施してまいりました。

想定以上のペースで、食料品や日常生活品を中心に価格の値上がりが続いております。当社グループでは主原料の小麦粉をはじめ、生産関連資材及び輸送費等が軒並み高騰し、製品価格の見直しを慎重に見極めて実施してまいりました。当第2四半期では、即席麺類は、自社製品販売の価格改定を実施したことにより前年同期を上回りました。皿うどん類は、取扱店の増加や価格訴求品の販売奏功により、前年同期を上回りました。また乾麺類も前年同期を上回り、カップ類の新商品やコロナ療養者向け「おかゆKitchen」が、売上増加に繋がりました。さらに、かき揚げ類及び穀粉類の販売も、外食需要や業務用が回復傾向に

転じたことから、前年同期を上回りました。これらの結果、食品事業の売上高は24億86百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は25百万円(前年同期比85.1%減)となりました。

question 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

Answer 1株当たり年間配当金は9円を予定しております。

当社は、株主の皆さまへの配当の充実を図りながら、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。この方針に基づき、2023年3月期の年間配当金は1株当たり9円を予定しております。

なお当社では通期の連結業績予想について、原材料価格ならびにエネルギー価格の高騰が一段と厳しい状況で継続するものと予想されること等から、誠に遺憾ではありますが別表にお示した数字へと見直しを行いました。株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。また、今後ともヒガシマルグループに対するご支援の程を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

●2023年3月期通期の見通し

科目	通期予想	前期比
売上高	11,977百万円	6.1%増
営業利益	23百万円	88.8%減
経常利益	101百万円	71.9%減
親会社株主に帰属する当期純利益	51百万円	—

串木野第2工場が完成しました。

2021年9月に着工した串木野第2工場が2022年7月に完成し、2022年11月15日には関係者をお招きして竣工式を執り行うことができました。

串木野第2工場では、小麦粉の自動投入設備やオートケーサー等の最新機器の導入で生産行程の自動化を進めており、生産性と品質の安定化を図りながら、将来の労働人口の減少にも対応していきます。また、SDGsへの貢献として燃料に重油を使用しないLPG仕様のボイラーを導入することでCO₂削減に取り組んでいきます。

現在の本社工場と串木野第2工場の2拠点での製造が可能となったことで皿うどんの生産能力が増加し、売上増加も期待されます。食品メーカーとして今後も皆さまへ安心安全な商品をお届けすることを目指してまいります。



東京・築地の生鮮魚介類卸売業！ 永屋水産株式会社をご紹介します。

永屋水産株式会社は2014年にヒガシマルのグループ会社となり、東京・築地で養殖魚の卸売販売を主に行っています。

●生鮮魚介類卸売業

当社は主にマダイやカンパチ、ブリといった養殖魚を西日本の養殖業者や加工場から仕入れて、東日本を中心に卸売市場や量販店、飲食店などへ販売しています。

●看板商品

愛媛県南宇和郡にある安高水産の「ふかうら真鯛」は、ヒガシマル製の配合飼料を中心に給餌され、徹底した管理の下で飼育されることで他の養殖マダイを圧倒する評価を得ており、当社の看板商品となっております。

また、カンパチやブリも仕入先となる生産者を限定することにより安定した品質の商品を提供することができ、他社との差別化に取り組んでいます。

●新たな取り組み

現在のメイン商品3魚種に加えて、今期からヒラメなどの他魚種の扱いも開始しました。今後は販売先のニーズに多く応えられるよう、取扱魚種をさらに拡大し、また個食対応に向けた高度加工品の開発等も視野に入れています。そして鮮魚販売の拡大によりヒガシマル配合飼料の拡販という相乗効果を高めて、ヒガシマルグループへの貢献を目指していきます。

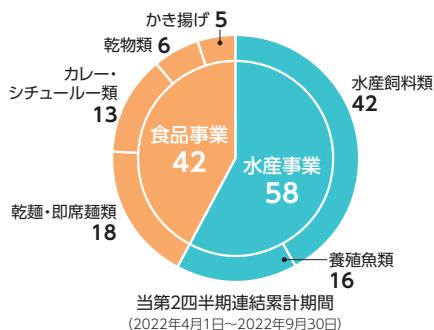


会社概要

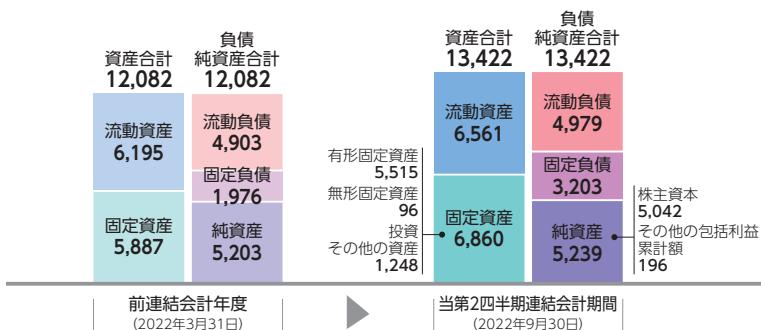
社名	永屋水産株式会社
所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2丁目14番3号 NIT築地ビル502
資本金	3,000千円
代表者	代表取締役 東 勤
事業内容	生鮮魚介類卸売、養魚用配合飼料販売
沿革	1996年12月 永屋水産有限会社設立 2014年11月 永屋水産有限会社の株式を取得し 子会社化 2015年 4月 永屋水産有限会社の商号を 永屋水産株式会社に更改

連結財務データ

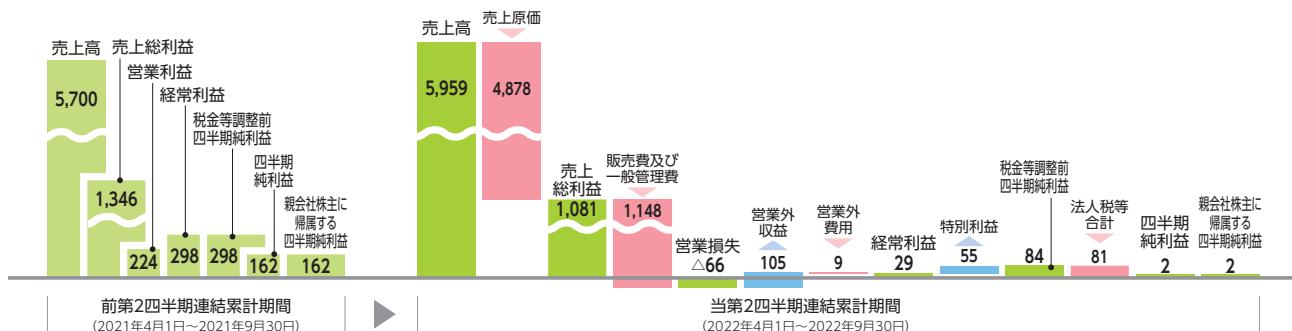
売上高構成比 (単位:%)



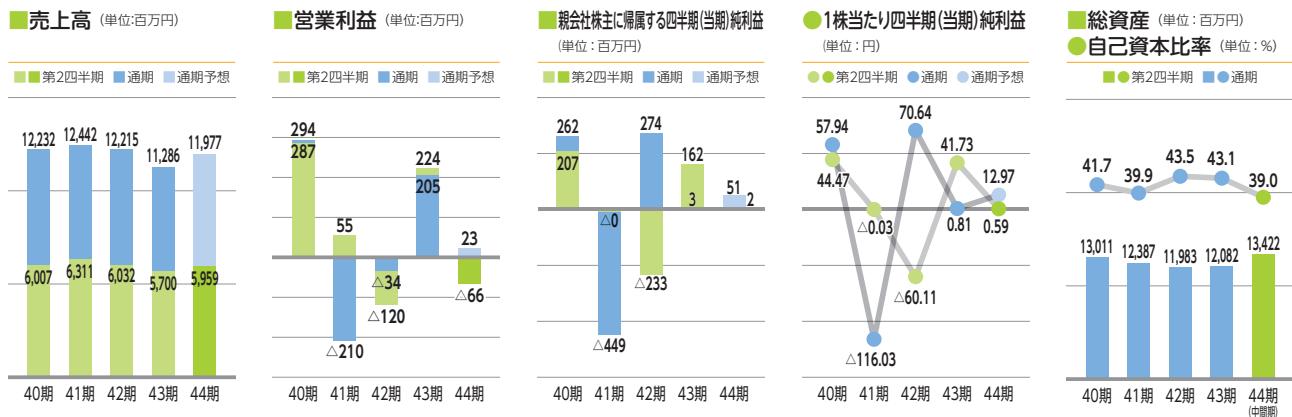
財政状態の概要 (単位:百万円)



損益の概要 (単位:百万円)



主な連結経営指標の推移



会社概要

(2022年9月30日現在)

会社の概要

設立	1979年(昭和54年)10月2日
商号	株式会社ヒガシマル(HIGASHIMARU CO.,LTD.)
本社	〒899-2594 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地
資本金	6億390万円
従業員数	180名
事業内容	水産事業 養殖用配合飼料の製造・販売 食品事業 乾麺、即席めん、皿うどん、めんつゆ等の製造・販売

役員

代表取締役会長	東 吉太郎	取締役(監査等委員)	下諸 清美
代表取締役社長	東 勤	取締役(監査等委員)	湯浦 一徳
取締役副会長	東 紘一郎	取締役(監査等委員)	西 達也
常務取締役	松久保 稔		
取締役	出来 正樹		
取締役	東 幸佑		

拠点一覧

本社工場	〒899-2594 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地
鹿児島工場	〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港2丁目1番11号
串木野工場	〒896-0046 鹿児島県いちき串木野市西薩町15番2号
串木野第2工場	〒896-0046 鹿児島県いちき串木野市西薩町15番1号
東京営業所	〒143-0016 東京都大田区大森北2丁目4番18号 大森ビル8F
大阪営業所	〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町2丁目12番10号 スターライトビル301
四国営業所	〒798-0035 愛媛県宇和島市新町1丁目1-25 岩永ビル1F
福岡営業所	〒816-0921 福岡県大野城市仲畑2丁目8番12号 シャトーポルターダ104
沖縄営業所	〒901-0313 沖縄県糸満市宇賀数444-3 サクセス賀数1F
臨海研究所	〒896-0046 鹿児島県いちき串木野市西薩町15番2号

主な連結子会社

マリンテック株式会社

〒441-3605 愛知県田原市江比間町新田370番地
TEL(0531)32-0363 FAX(0531)32-1684

コスモ食品株式会社

〒143-0016 東京都大田区大森北2丁目4番18号 大森ビル7F
TEL(03)6386-7353 FAX(03)6386-7354

株式会社向井珍味堂

〒547-0005 大阪府大阪市平野区加美西1丁目12番18号
TEL(06)6791-7337 FAX(06)6792-7231

永屋水産株式会社

〒104-0045 東京都中央区築地2丁目14番3号 NIT築地ビル502
TEL(03)3549-1381 FAX(03)3545-6770

奄美クルマエビ株式会社

〒894-0506 鹿児島県奄美市笠利町手花部353-1
TEL(0997)63-2406 FAX(0997)63-1351

株式会社なかしま

〒939-1811 富山県南砺市理休544番地
TEL(0763)62-2174 FAX(0763)62-3526

株式会社ヤンバル琉宮水産

〒905-0311 沖縄県国頭郡大宜味村字塩屋736番地
TEL(0980)50-5027 FAX(0980)50-5028

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆さまへの利益還元の一環として、株主優待制度を設けております。所有株式数1,000株以上保有の株主さまに対し、3,000円相当の自社商品を年2回(6月・12月)お届けしております。



2022年6月実施優待品



2022年12月実施優待品

株式状況

発行可能株式総数	17,900,000株
発行済株式総数	4,746,000株
株主数	803名

株主状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東 勤	589,400	14.97
東 実	571,000	14.50
有限会社ヒガシマル開発	427,000	10.84
ヒガシマル共栄会	368,600	9.36
株式会社鹿児島銀行	165,000	4.19
東 吉太郎	156,000	3.96
東 久江	140,000	3.55
ヒガシマル従業員持株会	92,991	2.36
鹿児島ビル不動産株式会社	91,000	2.31
日本生命保険相互会社	57,000	1.44

(注)持株比率は、自己名義株式を控除して計算しております。

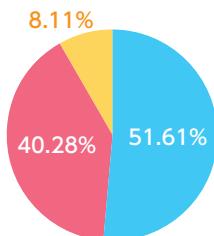
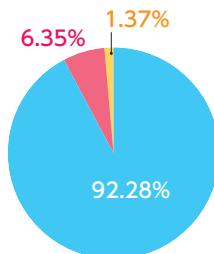
株式分布状況

所有者別

● 個人・その他	741名
● その他法人	51名
● 金融機関等	11名

所有数別

● 個人・その他	2,449,391株
● その他法人	1,911,889株
● 金融機関等	384,720株



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主	期末配当金受領株主確定日3月31日 (中間配当をする場合の配当金受領株主確定日は9月30日)
基準日	定時株主総会については3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
1単元の株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

● 証券会社に口座をお持ちの場合

郵便物送付先	
お問合せ先	お取引の証券会社となります。
お取次店	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、下の「特別口座の場合」の郵便物送付先・お問合せ先・お取次店をご利用ください。

● 特別口座の場合(証券会社に口座をお持ちでない場合)

お問合せ先	0120-288-324(フリーダイヤル) https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
お取次店	みずほ信託銀行、みずほ証券 本店及び全国各支店
ご注意	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買を行うことができません。株式売買を行う場合は、証券会社へ口座開設する必要があります。また、お手元に他人名義の株券がある場合は至急上記の電話番号へお問合せください。



皿うどん

辛麺

辛くても旨い あと引く美味しさ

1人前

あんかけスープ付



お好みの具材を使って
おうちで簡単調理！

※写真・イラストはイメージです。

この商品は株式会社響と
株式会社ヒガシマルの共同開発商品です。

当社Amazonネット販売サイトもどうぞご利用ください。

▶ヒガシマルシェ (ヒガシフーズ直販)

<https://www.amazon.co.jp/s?i=merchant-items&me=A5DKPY693DRZL>



株式会社
ヒガシマル

〒899-2594

鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

TEL: 099-273-3859 (代表)

UD
FONT